

2023年1月23日

各位

株式会社ディ・アイ・システム

ディ・アイ・システム、「デジタルツイン研修」の提供を開始

株式会社ディ・アイ・システム（本社：東京都中野区、代表取締役会長：長田光博、以下「当社」）は、2023年2月7日（火）より、当社が運営するIT教育サービスにおいて、新たに「デジタルツイン研修」（以下「本サービス」）の提供を開始することをお知らせいたします。



1、本サービス提供の背景

昨今、DXの進展を背景に、「デジタルツイン」という言葉が注目を集めています。デジタルツインとは、現実世界（物理空間）にある情報をIoTやAI、AR、VRなどの技術を用いて収集し、その様々なデータを元に、仮想空間で現実世界の環境を再現する技術です。現実世界を仮想空間にコピーする鏡の中の世界のようなイメージであり、「デジタルの双子」の意味を込めてデジタルツインと呼ばれています。

デジタルツインは、災害対策や都市計画での活用が先行していますが、仮想空間での試作を繰り返し、限りなく現実世界に近いシミュレーションを行うことで、製品の圧倒的な品質の向上やコストダウンが期待できるため、今、様々な業界・業種から注目を集めています。デジタルツインが私たちの身近なものになるのは、そう遠い未来の話ではありません。まずはデジタルツインに関する基礎知識を習得していただきたく、本サービスの提供を開始することといたしました。

2、本サービスの概要

(1) 研修の目的

本研修では、「デジタルツイン」に関する基礎知識の習得とユースケースを通して、ビジネスでの活用の可能性を探っていただきます。

- ① デジタルツインの基本的な概念を理解
- ② デジタルツインの事例から、自社の業種への展開のヒントを理解
- ③ メタバースや VR をはじめとした xR の違いを明確に理解

(2) 研修カリキュラム

デジタルツイン研修	
① デジタルツインとは ・デジタルツインの概要	④ 活用ケースから発想するデジタルツイン ・自動車 ・建設 A ・生産工場 ・医療 ・人のデジタルツイン ・物流 ・農業 ・スマートシティ
② ユースケースから知るデジタルツイン ・Virtual SHIZUOKA と 熱海伊豆山土石流災害での対応と教訓	
③ 歴史と背景から理解するデジタルツイン ・デジタルツインの定義 ・アポロ 13 号の月面探査プロジェクト ・インダストリー 4.0 (ドイツ) ・ソサエティ 5.0 (日本)	⑤ まとめ

※研修項目は変更となる場合があります。

※研修はオンライン形式となります。

(3) 日程・受講料

① 日程

- ・【第 1 回】 2023 年 2 月 7 日 (火) 14:00~16:00
- ・【第 2 回】 2023 年 2 月 9 日 (木) 14:00~16:00

※デジタルツイン研修は 2023 年 3 月以降も毎月実施いたします。研修日程は当社ホームページで随時更新いたしますので、ご確認ください。

② 受講料

- ・1 名様 15,000 円 (税別)

(4) 研修の形式

本サービスは、オンライン形式となります。ご自宅や企業の研修室などから受講いただけます。

3、本サービスに関するお問い合わせ

<サービスに関するお問い合わせ>

株式会社ディ・アイ・システム 研修担当

・電話：03-5318-6940

・メール：info@di-system.co.jp

<IR・広報に関するお問い合わせ>

株式会社ディ・アイ・システム 経営企画本部 経営企画室

・電話：03-6821-6122

・メール：ir@di-system.co.jp

■株式会社ディ・アイ・システムについて

- ・会社名：株式会社ディ・アイ・システム（証券コード：4421）
- ・本社所在地：〒164-0001 東京都中野区中野 4-10-1 中野セントラルパークイースト 2F
- ・代表者：代表取締役会長 長田光博／代表取締役社長 富田健太郎
- ・設立：1997年11月5日
- ・事業内容：ソフトウェア設計／開発／運用業務、IT インフラ設計/構築/運用業務
ユーザー支援サービス業務、教育サービス（IT 研修・IT 資格取得）
セキュリティ製品開発・販売、セキュリティソリューション導入支援
- ・URL：<https://www.di-system.co.jp/>

当社は、「無限の夢を創造する、無限の夢を実現する組織」を標榜し、1997年に4名の社員でソフトウェアの開発事業をスタートしました。その後、時代のニーズに合わせて、システム開発からネットワークの設計・構築、そして運用・保守とワンストップで対応するシステムインテグレーション事業を展開してまいりました。2022年10月現在では、連結従業員数が652名となり、中堅技術者向けに専門性の高いIT研修や新入社員向けのIT研修、またメタバース関連の研修を行う教育サービスにも力を入れております。今後も、情報環境の変化に対応しながら、顧客のニーズにしっかりと応えてまいります。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。その後予告なく変更となる場合がございますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。